

北海道における建設業の将来像に関する検討委員会 報告書 構成

現状と課題

第1 北海道の建設業の役割

地域の社会資本整備、災害対応・除雪等による地域の安全・安心の確保、地域における経済効果の波及、雇用面で重要な役割

第2 北海道の建設業の現状と課題

1. 現状

(経営状況)
建設投資額の減少
建設業者過多
営業利益率の悪化

(労働条件)
全国の建設業と比べ長時間・低賃金

(建設業者の意識)
経営への現在の取組
・新たな受注先の開拓を含む本業専心
・人材育成

(地域との関係)
地域貢献の必要性や地域経済の牽引役としての役割を認識
地域との意見交換・連携が不十分

2. 課題

建設業に対する信頼回復
地域に根ざす企業として活動していくため、信頼回復は急務

厳しい経営状況への対応
1. 地域の生活・産業活動を支える社会資本整備・防災等は、建設業が引き続き担っていかなければならない

2. 建設業全体の厳しい経営状況を改善していくため、過剰供給構造の是正・転換が必要

地域における役割や貢献のあり方
建設業として地域の中で何ができるか等、地域と建設業のより密接な関係が必要

将来に向けた取組

第1 コンプライアンスの徹底

地域から信頼されることが不可欠。コンプライアンスの徹底

第2 企業の実力強化の取組

1. 公共事業を担う建設業

- (1) 技術力の強化
施工した工事において優れた品質を支える技術力
- (2) 経営力の強化
経営戦略の検討等による経営力の強化、CSR(企業の社会的責任)
- (3) 行政の取組

2. 活動領域の拡大

- (1) 建設事業の活動領域の拡大
住宅リフォーム等建設関連分野、川上・川下市場への進出、民間主導の地域密着型まちづくりプロジェクトの推進、海外の建設市場への進出
- (2) 新たな分野への進出
- (3) 支援施策の活用

第3 地域との関係強化の取組

1. 建設業と地域との関わり方

- (1) 建設業の地域への貢献
- (2) 建設業に対する地域の理解

2. パートナーシップの構築

地域との新たなパートナーシップを構築し、新たな取組を開始